

仙台市立八木山中学校

＜学校目標＞ 自主・連帯・創造

＜学校教育目標＞

八木山中学校生徒としての自覚を持ち、相互の連帯感を高めつつ、自主的・創造的に未来を切り拓く人間性豊かな生徒の育成に努める

◆ 学校活動 ◆

八木中では学校目標のもと、各種行事や部活動、ボランティア活動等が活発に行われています。また、朝の会開始の予鈴、1時限目開始の本鈴、昼休み終了時、部活動終了時の計4回のチャイム以外は、ノーチャイムです。生徒各自が次の活動予定と時間を意識して行動するよう自主性を促しています。

◆ 生徒会活動 ◆

生徒会や各種委員会では、生徒会目安箱を活用して意見を集約し、改善に向けた提案や話し合いを行いながら、生徒達自ら「よりよい八木中」を目指して活発に活動しています。5月には「女子の制服をスラックスも可能にしてほしい」と目安箱へ意見が寄せられ、生徒会総会にて審議、可決されました。

また、生徒会発案によるクラストークでは「いじめに関するお題」などをもとにクラスで話し合っています。他にも、生徒会とボランティア委員会を中心としてエコキャップ運動もスタートしています。回収ボックスには、たくさんのキャップが集まっています。



エコキャップ回収ボックス

◆ 運動会 ～限界突破～ ◆

10月25日(火)「限界突破」をスローガンに、晴天のもと、全校運動会が開催されました。八木山中では、長年バレーボール大会が開催されていたため、全校での運動会は33年ぶりでした。開会式では校長先生から「協力することの大切さを実感しましょう」とお言葉をいただき、実行委員長からは「怪げなく、喧嘩なく、相手をリスペクトしましょう」という声かけがありました。

最初は青空でしたが、やや風が強く、最終種目の3年生の全員リレーでは雨が降り、まさに「限界突破」というスローガンを演出するような天気の中、先生も生徒も、観ている保護者も、本当に一丸となって応援している様子は、八木山中の素晴らしさを象徴していると思いました。素敵な運動会でした。



開会式



大縄跳びの様子



部活動対抗リレーの様子



校長 布施 辰哉



PTA会長 山口 茂

◆ 文化発表会 ～心豊かなひとときを～ ◆

文化発表会は、展示発表、ステージ発表と開催方法を工夫して行われました。国語、英語の弁論発表や各学年の発表の他、コンクールで金賞や審査員特別賞を受賞した吹奏楽部の素晴らしい演奏も披露されました。また、生徒会執行部によるディベートでは「愛かお金か」の議題で大いに盛り上がりました。



全校制作モザイクアート



吹奏楽部のステージ

◆ PTA活動 ◆

8/31,9/1に開催された文化発表会に合わせてPTA活動の発表の場があり、三行詩や防犯活動のお知らせスライドなどを来場者の皆さまにご覧いただきました。



これまでのPTAパネル展示

10月にはPTA活動を皆さんに知ってもらうための初の取り組みとして、全会員にオープンな参加自由のZOOM会議を開催しました。事前に行ったアイデア募集ではGoogleフォームも活用し、会員の方から様々な意見をお寄せいただきました。

また、すでに導入されている「八木中NET」に加えて、八木山中では今年度から新たに保護者連絡ツール「tetoru(テトル)」が導入されました。アプリによる情報配信や欠席連絡が可能で、学校・PTA・家庭の連絡や情報共有がより一層便利になりました。